

◎昭和47年度第8回理事会議事録

(48.1.23) 出席者：岡本会長，石川，坂野，篠原，横道の各副会長，下村専務理事，足立（委任状），荒木，市田，小山内，大塚，後藤，鈴木，田辺（委任状），長尾，難波，林，半谷，福岡，細井，松本，三浦，吉田の各理事，奥田，渡辺の各監事。議事録署名名理事の決定：岡本会長，下村専務理事，難波理事。A. 報告事項：1) 会計報告；下村専務理事から概略説明があり，了承。2) 刊行物頒布報告，3) 各種委員会その他報告，の2件については説明を省略して了承。4) 1973年度に日本学術会議から派遣を希望する学術関係国際会議および派遣代表者の推薦について報告；下村専務理事から，本件は日本学術会議の依頼に係るものであり，第7回理事会において会長一任と決定されたので，すでに提出済みである旨の報告があり，異議なく了承。5) 米國運輸省の照会に係るトンネル専門家の受入れ方について；下村専務理事から，本件は米國運輸省が研修のためにトンネル専門家を日本に派遣する場合の日本側の受入れの可能性に関する在米大使館を通じての照会について，外務省アメリカ局長からの運輸大臣官房長および建設省計画局長に対する検討方の依頼文書の写しを同局長から送付されたものであり，土木学会としてはトンネル工学委員会幹事会において目下検討中であるが，運輸，建設両省から正式依頼があれば具体化する意向である旨の報告があり，了承。6) 中国清華大学への図書寄贈依頼について；下村専務理事から，自由民主党訪中団から土木学会発行図書取扱店丸善株式会社に対し日中交流の趣旨から土木学会発行図書13点を中国清華大学へ寄贈方の要請があったことについて，同社から土木学会に依頼があった旨の報告があり，土木学会としては寄贈することを了承。B. 協議事項：1) 第59回通常総会予定について；下村専務理事から概略説明があった後，第59回通常総会を原案どおり来る5月29日（火）に開催することを決定。なお，総会とあわせ行なう特別講演については，坂野重信君に「国土開発のあり方」(仮題)をテーマとして依頼することに決定。2) 昭和48年度全国大会予定について；下村専務理事から概略説明があった後，昭和48年度全国大会を来る10月1日（月）～10月3日（水）の

3日の会期をもって札幌市（北海道大学構内）において開催することを北海道支部案のとおり決定。3) 関東地震50周年記念シンポジウムの共催について；下村専務理事から，日本学術会議地震工学研究連絡委員会委員長から標記シンポジウムを関係4学会共催をもつ開催願いたい旨の依頼があったことについて概略説明があり，さらに岡本会長から補足説明があった後，異議なく共催することを決定。4) 日本学士院会員候補者の推薦について；下村専務理事から，日本学士院会員の補欠を行なうことについて同院から推薦方の告示があった旨の説明があり，土木学会としても第5分科（工学）1名補欠の候補者を推薦することとし，候補者の人選については会長および副会長に一任と決定。5) 第10回IABSE国際会議準備会立替金について；下村専務理事から，本件について大要次のような説明があった。「1976年（昭和51年）に第10回IABSE国際会議が日本において開催されるに当たり，日本学術会議，土木学会，日本建築学会，日本鋼構造協会および日本道路協会から推薦された委員によって準備会が設けられているが，同準備会から国際会議実施までの期間において必要とする経費の一部を土木学会において立替（貸与）願いたいとの申出があった」。つづいて同準備会を代表して挨拶ならびに説明のため特に出席されたIABSE副会長 平井敦氏から大要次のような補足説明があった。「国際会議の必要経費は國の補助金，一般募金により賄う予定であるが，これらが現実に入収入となるのは昭和50年度以降となる見込みなので，その時期までの必要経費概算400万円を4学協会に均等分にして100万円を土木学会から貸与願いたい」。以上について種々論議された結果，会務担当（経理）理事会を開催してさらに検討することに決定。6) 東京電力増資払込みについて；下村専務理事から，資料により説明があった後，異議なく原案どおり処理することを了承。7) 日本学術会議広報委員会の照会に係る学・協会に関する調査事項の回答について；下村専務理事から，日本学術会議に対する各学・協会の要望事項等に関する同会議からの照会の概略説明があり，続いて事務局員が回答を朗読した後，種々論議された結果，原案を基本として回答することに決定。8) その他；①会務担当（合同）理事会の開催について，②定例第1回評議員会の開催について，の2件について，下村専務理事から，昭和48年度事業計

画案および予算案の審議決定のために会務担当（合同）理事会および定例第1回評議員会を次のとおり開催したい旨の提案があり，異議なく決定。

会務担当（合同）理事会  
昭和48年3月10日（土）13.00～  
定例第1回評議員会  
昭和48年3月29日（木）14.00～

③ 役員候補者選考委員会の開催について；下村専務理事から，昭和47年度で任期満了となる役員の後任候補者の選考のために次のとおり役員候補者選考委員会を開催したい旨の提案があり，異議なく決定。

昭和48年3月13日（火）14.00～

④ 会員入退会について；下村専務理事から概略説明があり，異議なく承認。⑤ 次の理事会について。

◎各種委員会

(1) 海外活動委員会 (47.12.1) 出席者：吉越委員長，ほか16名。議事：1) 幹事会報告。2) Civil Engineering in Japan について。3) 海外工事契約・示様書研究会の件。4) その他。

(2) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会 (47.12.2) 出席者：左合主査，ほか14名。議事：1) 昭和46年度の報告書について。2) 調査中間報告。3) 昭和47年度報告書の作成方針について。

(3) コンクリート標準示方書改訂小委員会第4分科会 (47.12.2) 出席者：後藤主査，ほか9名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち鉄筋工，構造断面に関する条項の審議。

(4) 橋梁年報編集小委員会 (47.12.2) 出席者：阿部委員長，ほか2名。議事：「橋1971～1972」の編集打合せ。

(5) 学会誌編集小委員会 (47.12.4) 出席者：中村幹事長，ほか9名。議事：1) 経過報告。2) 受付論文査読。3) 学会誌58巻4月号，Annual '73の編集の件。4) 次回表紙の件。5) その他。

(6) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会幹事会 (47.12.5) 出席者：岡本委員長，ほか17名。議事：沈埋トンネル耐震設計指針（案）第1次原案の審議。

(7) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会 (47.12.5) 出席者：堀川主査，ほか15名。議事：1) 鋼材仕様の検討。2) 靱性値について。3) 作業分担について。

(8) 岩盤力学委員会第2分科会（第2回）(47.12.5) 出席者：池田主査，ほか10名。議事：1) 前回議事録の確認。2) T.B.M. アンケートについて。3) T.

B.M. 使用現場見学会について。

(9) 鋼構造委員会鋼構造進歩調査小委員会(第2回)(47.12.5) 出席者:小西委員長, ほか5名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 研究テーマに関する原案の検討。3) 今後の作業予定について。

(10) 原子力土木委員会立地部会打合会(47.12.5) 出席者:松井部会長, ほか9名。議事:1) 原子力発電所の地下立地研究計画(昭和48年度科学技術庁平和利用委託について)。

(11) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第12回委員会(47.12.6) 出席者:大久保委員長, ほか11名。議事:1) 耐風実験橋について。2) 昭和46年度委託研究報告(建設省土木研究所)。3) 第19回風に関するシンポジウムについて。

(12) 学会誌編集委員会書評小委員会(47.12.6) 出席者:鮎川委員長, ほか2名。議事:1) 経過報告。2) 受付図書査読。3) その他。

(13) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会 農業利用に関する分科会(47.12.7) 出席者:鈴木主査, ほか15名。議事:1) 昭和47年度調査結果の中間報告。2) 報告書のとりまとめ方針について。

(14) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会材料施工分科会打合会(47.12.7) 出席者:樋口主査, ほか9名。議事:PC鋼材のレラクセーション試験に関し, メーカー側と打合せを行なった。

(15) 海洋構造物に関する調査研究委員会第1分科会(第3回)(47.12.7) 出席者:堀川主査, ほか7名。議事:設計指針(案)解説について。

(16) 海洋構造物に関する調査研究委員会第2分科会(47.12.7) 出席者:吉田主査, ほか6名。議事:設計指針(案)解説について。

(17) 海洋構造物に関する調査研究委員会第3分科会(第3回)(47.12.7) 出席者:有田主査, ほか6名。議事:設計指針(案)解説について。

(18) 文献調査委員会(47.12.7) 出席者:伊藤委員長, ほか8名。議事:1) 会誌58巻2号登載抄録について。2) 解説記事について。3) その他。

(19) 水理委員会編集小委員会(47.12.8) 出席者:安芸委員長, ほか6名。議事:1) 第17回水理講演会プログラムの作成。2) 昭和47年度水理学に関する現況調査。3) 研究小委員会テーマについて。4) 編集小委員会の実務内容について。

(20) 岩盤力学委員会第3分科会(47.12.8) 出席者:川木主査, ほか10名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 運営委員会経過報告。3) 岩盤試験法の標準化の原案の検討。4) その他。

(21) 総合開発懇談会(47.12.8) 出席者:八十島座長, 加納レポーター, 吉越海外活動委員会委員長, ほか17名。議事:1) 開会あいさつ。2) 加納レポーターの報告。3) 吉越海外活動委員会委員長の報告。4) 同協議。5) その他。

(22) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会幹事会(47.12.8) 出席者:関係者7名。議事:1) 提出原稿の確認。2) 改訂原稿の今後のとりまとめ方法について。3) その他。

(23) 水理委員会密度流研究小委員会第2分科会(47.12.8) 出席者:岩崎主査, ほか4名。議事:成層密度流の界面抵抗に関する審議。

(24) コンクリート標準示方書改訂小委員会第7分科会(47.12.8) 出席者:林主査, ほか7名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち寒中コンクリートに関する条項の審議。

(25) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第5回幹事会(47.12.8) 出席者:松本委員, 池田, 田村の両参与, ほか7名。議事:1) 第4章地中構造物の原案審議。2) 第5章掘削土留工の原案審議。

(26) 環境問題小委員会廃棄物分科会(47.12.9) 出席者:関係者2名。議事:固型廃棄物について。

(27) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第10回委員会(47.12.11) 出席者:久保委員長, ほか23名。議事:1) 各グループ打合会経過報告ならびに討議。2) 耐震設計指針(案)について。

(28) コンクリート標準示方書改訂小委員会第5分科会(47.12.11) 出席者:柳田主査, ほか9名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち配合, 管理, 試験配合に関する条項の審議。

(29) 原子力土木委員会コンクリート部会コンクリート分科会(47.12.11) 出席者:百島主査, ほか5名。議事:PC原子炉構造物設計施工要領(案)について。

(30) 第2回建設コンサルタント委員会(47.12.11) 出席者:猪瀬委員長, ほか15名。議事:建設コンサルタント業法について。

(31) 岩盤力学委員会研究会(47.12.12) 出席者:関係者35名。議事:講演-1) 青函トンネルにおける岩盤注入工法

について/日本鉄道建設公団 石崎昭義氏。講演-2) ダム基礎岩盤のグラウチングについて/東京電力 藤井敏夫, 石井清氏/建設省土木研究所 柴田功氏。

(32) 水理委員会第2回幹事会(47.12.12) 出席者:吉川委員長, 岩佐幹事長, ほか8名。議事:1) 議事録の確認。2) 第17回水理講演会プログラム案の承認。3) 昭和48年度水工学に関する夏期研修会開催地について。

(33) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班幹事会(47.12.12) 出席者:関係者3名。議事:“ダム基礎岩盤のグラウチングの施工実例集”原稿のとりまとめ。

(34) コンクリート標準示方書改訂小委員会主査打合会(47.12.12) 出席者:国分委員長, ほか11名。議事:1) 各分科会進捗状況の報告。2) 今後の運営方針。

(35) 企画委員会第6回幹事会(47.12.12) 出席者:堀委員長, ほか2名。議事:土木学会のあり方について。

(36) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第18回)説明会(47.12.13) 出席者:佐藤主査, ほか31名。議事:1) 本四連絡橋の設計概要。2) 本四連絡橋の腐蝕特性。3) 塗装系の選定。

(37) 論文集編集委員会第1小委員会(47.12.13) 出席者:岡内主査, ほか9名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 査読報告書の改訂について。6) 土木賞候補論文の推せん。7) その他。

(38) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会 海洋還元に関する分科会(47.12.14) 出席者:新田主査, ほか6名。議事:1) 昭和46年度報告書のとりまとめ。2) 昭和47年度調査中間報告。3) 昭和47年度報告書の作成。

(39) コンクリート標準示方書改訂小委員会第6分科会(47.12.14) 出席者:山崎主査, ほか6名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち練りませ, 打ち込み, 養生, 仕上げに関する条項の審議。

(40) コンクリート標準示方書改訂小委員会第11分科会(47.12.14) 出席者:野口主査, ほか4名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうちプレバックドコンクリートに関する条項の審議。

(41) コンクリート標準示方書改訂小委員会第15分科会(47.12.14) 出席者:永倉主査, ほか6名。議事:コンク

リート標準示方書改訂のうちダムコンクリートに関する条項の審議。

(42) 論文集編集委員会第5小委員会(47.12.14) 出席者:関係者6名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 査読報告書の改訂について。6) 土木賞候補論文の推せんについて。7) その他。

(43) 海外工事契約・仕様書研究会(47.12.15) 出席者:吉越主査, 赤木副主査, ほか15名。議事:テキスト第19章の検討協議を行なったあと, 反省会を行ない研究会を終了した。

(44) 論文集編集委員会第3小委員会(47.12.15) 出席者:稲田主査, ほか3名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 査読報告書の改訂について。6) 土木賞候補論文の推せんについて。7) その他。

(45) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(47.12.16) 出席者:岩井委員長, ほか8名。議事:1) 昭和46年度報告書について。2) 昭和47年度調査結果の報告。3) 今後の調査方針。

(46) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会 鋼材分科会(第8回)(47.12.16) 出席者:堀川主査, ほか12名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 鋼材に関する検討。

(47) コンクリート標準示方書改訂小委員会第2分科会(47.12.18) 出席者:西沢主査, ほか2名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうちセメント, 水, 混和材料, 大断面の施工に関する条項の審議。

(48) 学会誌編集委員会(47.12.18) 出席者:中村幹事長, ほか19名。議事:1) 経過報告。2) 受付原稿査読。3) 学会誌58巻4月号, Annual'73の編集。4) 次回連載講座内容協議。5) 学会誌58巻標語, 表紙等の内容協議。6) その他。

(49) 論文集編集委員会第4小委員会(47.12.18) 出席者:松本主査, ほか10名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 査読報告書の改訂について。6) 土木賞候補論文の推せんについて。7) その他。

(50) 出版委員会(47.12.18) 出席者:石川委員長, 堺副委員長, ほか9名。議事:1) 昭和47年度委員会構成。2) 昭和47年度新刊出版物の進行状況。3) 議事2)以外の出版物; a) 構造力学公式集, b) Contracts Specifications and Engi-

neering Relationsの出版, c) 英文耐震規定改訂版(1973年版の出版), d) 教材用スライド作成の件, e) 講座「図説土木工学」監修の件。4) 年次学術講演概要集発行の件。5) 土木学会出版規定の一部改訂の件。6) 議事5)に伴う教材特価変更について。7) 丸善(株)への学会出版物の出し 正味引上げの件。8) 創立60周年記念出版部会における出版物の報告。

(51) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第14回)(47.12.19) 出席者:岡内主査, ほか10名。議事:耐風実験橋について。

(52) コンクリート標準示方書改訂小委員会第10分科会(47.12.19) 出席者:津野主査, ほか7名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち型わく, 支保工に関する条項の審議。

(53) 行事企画委員会(47.12.19) 出席者:森委員長, ほか11名。議事:1) 講演申込料の徴収の是非。2) 超過ページの取扱いについて。3) 連名者の制限。4) 別刷の廃止について。5) 下水道技術者講習会について。6) 48年度総会の特別講演について。

(54) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会解析分科会(第10回)(47.12.19) 出席者:大地主査, ほか9名。議事:1) トラスのねじり解析。2) 解析分科会報告書原案の検討。

(55) 水理委員会密度流研究小委員会第3分科会(47.12.19) 出席者:室田主査, ほか3名。議事:1) 来年2月までの原稿のとりまとめ方法について。2) 成層密度流の界面形状に関する審議。

(56) コンクリート標準示方書改訂小委員会第9分科会(47.12.19) 出席者:原口主査, ほか6名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち水中, 耐海水コンクリートに関する条項の審議。

(57) 原子力土木委員会耐震部会(47.12.19) 出席者:岡本部会長, 野口幹事長, ほか14名。議事:1) 報告書Ⅱの原稿審議。2) 報告書Ⅱのとりまとめ方針。3) その他。

(58) 耐震工学委員会第4回委員会(47.12.20) 出席者:岡本委員長, 久保副委員長, ほか11名。議事:1) 常任委員会報告。2) “土木技術者のための振動便覧(出版物)”改訂について。3) 本州四国耐震研究小委員会について。4) IAEについて。5) 地震応答解析と実例(出版物)について。6) 昭和47年度土木学会賞候補推薦について。7) 学術関係国際会議派遣代表候補者推せんについ

て。8) 常任委員の交代。9) 英文耐震規定(出版物)について。

(59) 終局強度設計小委員会幹事会(47.12.20) 出席者:河野主査, ほか9名。議事:1) 荷重について。2) PC鋼材の特性について。

(60) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会主査幹事会(47.12.20) 出席者:奥村委員長, ほか12名。議事:1) 各分科会経過報告ならびに中間報告書の検討。2) 今後のとりまとめ方針について。

(61) 論文集編集委員会第2小委員会(47.12.20) 出席者:室田主査, ほか6名。議事:1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 主査幹事会報告。5) 査読報告書の改訂について。6) 土木賞候補論文の推せんについて。7) その他。

(62) 論文集編集委員会主査幹事会(47.12.20) 出席者:久野委員長, 室田副委員長, 岡内, 稲田, 松本, 岩間の各主査, ほか5名。議事:1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集第211号登録論文について。4) 査読報告書について。5) 土木賞候補論文の推せんについて。6) その他。

(63) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会コンクリート構造分科会(47.12.21) 出席者:関係者7名。議事:コンクリート構造に関する検討。

(64) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会斜面およびのり面分科会(47.12.22) 出席者:関係者11名。議事:斜面およびのり面に関する検討。

(65) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会基礎土構造分科会(47.12.22) 出席者:関係者9名。議事:基礎土構造に関する検討。

(66) 水理委員会密度流研究小委員会第1分科会(47.12.22) 出席者:岩佐主査, ほか2名。議事:1) 水理講演会講演原稿の作成について。2) 界面安定・不安定の第1次原稿のとりまとめについて。

(67) 岩盤力学委員会第1分科会(47.12.22) 出席者:関係者2名。議事:“ダム基礎岩盤のグラウチングの施工実例集”原稿のとりまとめ。

(68) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会(47.12.23) 出席者:寺島委員長, ほか14名。議事:1) 昭和46年報告書の進捗状況。2) 各分科会中間報告。

(69) コンクリート標準示方書改訂小委員会第4分科会(47.12.25) 出席者:後藤主査, ほか9名。議事:コンクリー

ト標準示方書改訂のうち鉄筋工、構造細目に関する条項の審議。

(70) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会トンネル分科会(47.12.26)出席者:関係者10名。議事:トンネルに関する検討。

(71) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第19回)(47.12.26)出席者:佐藤主査,ほか8名。議事:塗装分科会報告書原案の検討。

(72) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会コンクリート構造分科会幹事会(47.12.26)出席者:関係者9名。議事:コンクリート構造に関する検討。

### ◎その他

(1) 第19回橋梁・構造工学研究発表会(47.12.1)

場所:土木学会土木図書館講堂

参加者:90名

講演数:21題 他にパネル討論1題

◎構造工学懇親会参加者:25名

(2) 建造物の耐風性に関する第2回シンポジウム(47.12.4)

場所:気象庁講堂

参加者:200名

講演数:一般講演30題,特別講演3題 懇親会(12月4日)参加者:25名

(3) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会(見学会)(47.12.22)

場所:科学技術庁国立防災科学技術センター耐震実験室

出席者:9名

記事:本四連絡橋のつり橋基礎・地盤系の模型振動実験の見学

## 支 部 だ よ り

### ◎関西支部

(1) 第1回学生見学会(湖西線工事見学会)(47.12.15)

見学先:日本鉄道建設公団湖西線工事現場

車中説明者:日本鉄道建設公団大阪支社湖西線部湖西線第一課長 井内富雄

参加者:37名

参加費:1000円

(2) 第6回幹事会(48.1.10,好文倶楽部)出席者:柳瀬支部長,後藤幹事長,ほか17名。

(3) 庶務・会計担当幹事会(第6回)(47.12.26,土木学会関西支部)出席者:後藤幹事長,ほか6名。

(4) 土木学会賞候補支部推薦打合せ(第2回)(48.1.10,好文倶楽部)出席者:後藤幹事長,ほか10名。

(5) 出版物編集担当打合せ(第5回)(47.12.26,土木学会関西支部)出席者:編集担当者12名。

(6) 支部に関する懇談会(第2回)(48.1.10,好文倶楽部)出席者:野瀬,田中の元支部長,伊藤,岡田の元幹事長,足立理事,柳瀬支部長,後藤幹事長,ほか7名。

### (7) 幹事交替

(旧) 幹事 西村昭三氏 国鉄新幹線総合計画部次長に転出

(新) 幹事 田辺陽一氏 国鉄大阪工事局次長

## 編 集 後 記

■ 小笹太郎・記

2月の蔵王に雨が降りスキーヤーを驚ろかせたり,真冬に雪の降らないスキー場が転業を真剣に考えているニュースは,地球がだんだんあたままできている様子を伝えて何かおちつかない近年です。新年号の編集が終ってほっとしたせいか,深井幹事はスキーで足を骨折,続いて小村幹事も足をやられ,“2度あることは3度ある”とのことで,メイ手中村幹事長は楽しみにしていたスキー行も「こわくて直滑降もできなかった」由。編集委員会は現在6月号の編集に取り組んでおります。雑誌編集に新機軸を出してみたいと,むつかしいことをいっております。

今回お届けすることのできました3月号,ごらんのような特集と大きな論文2編をあわせ載せました。特集の方は“はづかしがり屋の土木屋さん”に個人を語ってもらうという至難な作業をどうやらくぐりぬけ,とりまとめてみました。おしかりを受けるかおほめの言葉をいただけるのか,内心びくびくの態です。ご批判・ご意見をおよせいただけますれば幸いです。サンフェルナンド地震の報告を貴重なデータを添えて載せました。この地震に関しては,カリフォルニア州の役人であるW.F. Pond氏がP.C.I.の誌上に「われわれは与えられた予算,与えられた基準でこれだけの建造物をつくった。それがこの地震で壊れた。これ以上丈夫な建造物が必要であるならば,予算を出してほしい」とはっきり記してあることなどをお含みの上お読みになられる

ようおすすめします。アメリカではこのような意見が堂々と出されているのを爽快に感じます。また,学会誌としてはめづらしく早いテンポで「業法改正」の事情と解説を載せました。関係する会員諸兄も多いかと存じます。熟読の上,甲乙両者の良い意味での協力をもって立派に育ててゆきたい新しい業法ではありません。

現在連載中の「数値解析法の講座」が間もなく終了します。これに引続いて「JIS講座」がはじまる予定です。

今回の講座は東京都水道局の長崎会員からの連載希望を受けて会誌委員会がまとめたものであります。長崎さんに感謝するとともに,この種企画案をいろいろとおよせ下さいますようお願いする次第です。

## 土木学会投稿の手引き

●土木学会投稿の手引き特別小委員会・編集●

B5・40ページ 350円(〒70円)

1. はじめに
2. 土木学会誌・土木学会論文報告集投稿要項解説
3. 土木学会投稿原稿の書き方
4. 欧文論文のまとめ方
5. オフセット用原稿の書きかた,など,付録つき